

「国産材(間伐材)活用プロジェクト」 ハートツリー株式会社 【林野庁長官感謝状】

ホームページ：
<http://heart-tree.com>

木材利用は「ビジネスチャンス」

東京都虎ノ門にオフィスを置くハートツリー株式会社は、スポーツ選手やミュージシャンのマネージメントを行うほか、国産割り箸プロジェクト「アド箸」など、主に吉野杉を使ったマーケティング企画で林業界に新たな風を送り込んでいます。

以前から様々な企業の商品開発やマーケティングでノウハウを培ってきた代表の服部さんは、すばらしい木の文化を持つ日本の林業が注目されていないことに気づき、敢えて業界への参入を決意。国産材を使うことはコスト面での壁が厚く、なかなか企業参入が進んでいない状態でしたが、国産材利用がコスト以上にメリットがあることを伝えら



1. お話をしてくださったハートツリー株式会社代表の服部進さん
2. PaPaCo YOSHINOの折り紙「まのかみ」
3. 吉野杉の間伐材が使われている「森パール」の内装
4. 9月に発売された「木のカレンダー」



れば「木づかい」は広がっていくと考え、事業展開をはじめました。

発想力で林業の活性化を

デザイナーとのコラボレーションを盛んに行っているハートツリーでは、吉野杉を使ったデザインコンペの開催協力を行うほか、9月には汐留イノベーションスタジアムと共にPaPaCo YOSHINOという吉野杉やヒノキの端材・間伐材を使っておもちゃをつくるプロジェクトを開始しました。また、被災地復興と森林再生をコンセプトに、宮城県の登米町森林組合との協力のもと宮城県産間伐材を使用した「木のうちわ」を5月に発売。同うちわは、この夏、林野庁が農林水産省職員に購入・活用を呼びかけた「木づかいで応援しよう！」

受賞者の声

木づかい運動推進部門
株式会社 南都銀行

吉野材を使用した
南都銀行堺支店の内装



当行は「木づかい運動」への関心を高め、奈良県林業の活性化につなげるため、店頭やイベントにおける吉野産割り箸の配付や間伐材を活用した「吉野3.9ペーパー」の利用のほか、店舗内装への吉野材の活用をしております。受賞を機に、一層「木づかい」の重要性の周知に努めてまいります。

『木のうちわ大作戦』にも採用されています。9月には宮城県の栗駒高原森林組合との協力により「木のカレンダー」の販売も開始しています。

発想力のあるデザイナーなど、様々な分野と連携しながら、これからも国産材を使った商品を企画し木の良さを伝えていくことで、林業の活性化に貢献できればと考えています。

服部さんは、10月17日から始まる「木づかいWeek 2011」(NPO法人活木活木森ネットワーク、港区立エコプラザ主催)で、木づかいビジネスセミナーの講師を務めます。また、国産材を利用したビジネス参入を考える企業へのアドバイザリーとなる「木づかいビジネス協議会」の設立も予定しています。